

経済産業省が選定！

DXセレクション2025発表



DXセレクション？
それは何ですか？

DXセレクションとは、経済産業省がDXで成果を残している、中堅・中小企業等のモデルケースとなる優良事例を選定する取組です。



そうなんです
同業種のDX取り組み事例を参考にできますね

2025年の選定は15社！選定された会社の業種は
・建設業 ・販売業 ・製造業 ・廃棄物処理業
・サービス業 ・不動産業 ・情報通信業と様々です！
是非参考にしてください。

DX推進取り組み例

- ノーコードツールの活用
- IT活用の社内教育
- AI、ロボット技術の導入
- BIツールでのデータ活用
- バックオフィス業務の強化
- ペーパーレス、タブレット活用
- 自社オフィスの見学会
- DX推進部門の設立

DX推進の成果例

- 業務効率化、労働時間の短縮
- 社員定着率、採用率向上
- 新規事業の立ち上げ
- 新規顧客の獲得
- データを生かした経営判断
- 売上拡大、生産性向上
- 品質向上
- 経費削減効果

2025年の選定企業のDX取組事例が紹介されます。
DX推進のために是非ご確認ください。

チラシ裏面には、DX成功のポイントをご紹介します。



https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/dx-chukenchushotebiki/dx-chukenchushotebiki_2025.pdf

DX成功のポイント

経営者がリーダーシップを発揮する

- ・将来に向けた経営ビジョンを描き明確化
- ・外部の視点を取り入れ気づき
(ベンダーや支援機関の伴走支援の活用)
- ・新しい取組を恐れない企業マインドの醸成



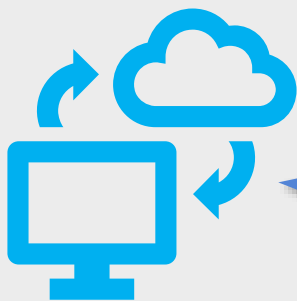
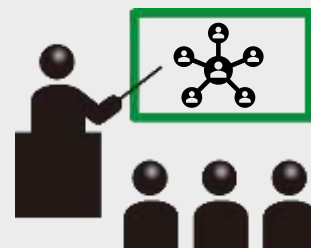
まずは身近なところからはじめる

- ・アナログ（紙）⇒デジタル（電子）への移行
(申請業務、請求書、給与明細のデジタル化)
- ・グループウェアで身近で全社的にDXを体験
- ・属人化やブラックボックス化している業務の洗い出し



DX、IT人材の育成を考える

- ・外部の力を活用して足りないノウハウを補完
- ・中長期的な目線でのDX人材の育成
(ITリテラシー向上、デジタル人材に向けた教育投資)
- ・保有スキルも考慮した人事評価制度



クラウドサービスを活用することで、初期費用を抑えたり、スモールスタートが可能です

DXの投資を行い、社会の変化や顧客ニーズに素早く対応



DXは当社にご相談ください！